

## 「つながる」と「つなげる」 長万部高等学校長 土屋 靖雅

今年の春、77期生として7名の新入生を迎え、新たなスタートを切りました。本校の長い歴史と伝統が、また一つ「つながり」、生徒一人一人は、「なりたい自分」になるために、学びを深めています。

さて、先日、高等学校配置計画地域別検討協議会が開かれ、「チーム長万部」として、教育長様をはじめ教育委員会の方やPTA会長、小・中学校の校長先生にも参加していただきました。本校の置かれている状況の厳しさについては、以前もお伝えしたところですが、会議において、「第1学年の在籍者数が2年連続して10人未満となった場合は、再編整備を進める」こと、そして、本校が該当校であるという現実が確認されたところです。会議では、発言する機会をいただき、「地域とつながる学校」をテーマとし、本校の現状や取組、今後の展望の具体など、存続に向けた活動について発信もいたしました。

今、高等学校では、「地域から選ばれる学校づくり」が求められています。そのためにも、地域の方々のご理解とご協力が必要です。そして、何より、今までの長万部高校ではなく、「今」の長万部高校を「知っていただくこと」が重要です。6月17日には、本校のオープンスクールを予定しています。学校の概要説明や体験授業、特に、本校の特色である、北海道遠隔授業配信センター（T-bese）と連携した遠隔授業も実施する予定です。詳細は、後日お知らせいたしますが、本校の「今」を知っていただく機会として、実際に足を運んでいただけると幸いです。

地域に学び、地域の未来を考える。このような学びを継続し、小さい学校だからこそできる、一人一人に寄り添った教育の実践を心がけて参ります。

「地域の子どもは地域で育てる」

地域の未来を「創る」のは若者です。地域と「つながる」ことを大切に、長万部の未来を「つなげる」人材の育成を担う学校でありたいと考えています。